

卒業生の歩み

10 M 昭和34年3月卒業 渡辺修也

生徒たちへ いま勉強していることに自信を持つこと。将来どのような職業に就いても今やることが基礎となって大なり小なり役立ちます。

そしてできるだけ早い時期に自分のほんとうにやってみたい事を見つけられるよう、いろいろなことに挑戦してほしい。

先生方へ 多感な成長過程の年代の生徒たちを相手に大変な役割を負っているとと思いますが、熱血精神で対応してもらいたい。また、時には生徒の目線で一緒に考え、相談に乗ってあげてほしいと思います。

卒業後の歩み

昭和34年4月 日本電信電話公社入社

都内の電話局にて局外設備の保守に携わる

昭和42年4月 早稲田大学産業技術専修学校産業経営科入学（同44年卒業）

昭和60年4月 電電公社から日本電信電話株式会社（NTT）に民営化（国の政策）体制が変わるが携わる業務は変わりなし。ただし民間会社になったことでお客様への意識変革が求められた

昭和62年3月 設備部門から企画部門へ配置換え

平成3年1月 東京の局番4ケタ化 前年の大晦日から元旦にかけて局内交換機にて切替作業に立ち会う

平成11年7月 NTTの再編により会社の分社化（NTT東日本、NTT西日本、NTTコミュニケーションズ）

平成13年3月 NTT東日本会社定年退職

近況

悠々自適の生活設計を描いていたがままならず、現在はボランティア待遇で東京都綱引連盟の理事・事務局長として種々の大会運営に携わっている。また男の料理や健康体操のクラブに参加したり、7人の男グループで群馬県で古民家を持ち農作業を楽しんでいる。

昨年は地球一周の船旅で南極海域まで行った。